

昭和50年度総会ならびに春季大会の告示

1. 期 日：5月21日（水）～23日（金）
2. 会 場：気象庁（予定）
3. 総会提出議題
 - 1) メ切：2月27日（水）
 - 2) 宛名：東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内
日本気象学会
封筒の表に「総会関係」と明記のこと
 - 3) 内容：議題名と提案理由
4. 研究発表
 - 1) 講演申込メ切：2月27日（水）一必着一
 - 2) 申込先：東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁
長期予報課内 講演企画委員会
 - 3) 様式：本号挿入の申込み用紙に記入（アブストラクト不要）
 - 4) 講演時間：討論を含め15分以内一厳守一
 - 5) 予稿原稿のメ切：4月8日（月）一必着一
講演申込者に3月上旬用紙発送
5. シンポジウム
「MONEX」について

昭和50年度秋季大会（大阪管区気象研究会と合同）のお知らせ

- 期 日：昭和50年10月29日（水）、30日（木）、31日（金）
会 場：大阪科学技術センター（予定）
研究発表
- 1) 講演申込メ切：7月下旬頃
 - 2) 申込先：東京都千代田区大手町 1-3-4
気象庁長期予報課内 講演企画委員会
 - 3) 詳細は追って告示されます。

月例会気候変動のお知らせ

- 日 時 1975年1月30日（木）10.30—17.00
会 場 気象庁予報部会議室（4F）
地下鉄東西線竹橋下車
発 表 題 目
1. 内田英治、田代茂夫、池田誠也（気象庁長期予報）：
異常天候監視について
 2. 水越允治（三重大・教育）：異常気候出現の地域的
対応—冬季の気温の場合
 3. 福井英一郎（成徳短大）：日本における異常気象月
出現の長期変動
 4. 荒川秀俊（東海大・理）：価格変動の要因としての
気候変動・異常気象
 5. 吉野正敏（筑波大）：各気圧配置型の出現頻度の長
期変動
 6. 朝倉 正（気象庁長期予報）：最近20年間におけ
る大循環の長期変動と寒冷化
 7. 須田滝雄：極度渦の消長と太陽活動
 8. " : 1966年に激変した太陽活動の体制とその
気候に及ぼす影響
 9. " : 気温低下に及ぼす火山噴火と太陽活動の
影響度の比較
 10. 大内正夫（京都教育大）：気候海況変動の異常性の
発現機構について
 11. 田村竹男（高層台）：茨城県の気候変動について
 12. 中島暢太郎（京大防災研）：東南アジアの気候変動
について
 13. 山本武夫（山口大）：樹令900年の台湾檜年輪によ
る気候変動の研究
 14. 樋口敬二（名大理）：山岳地帯積雪量の変動特性に
ついて
 15. 土屋 巖（気研）：東北山地における地形的雪線の
最近の下降現象